

1. 単元名 「大豆はかせになろう～大豆と食文化～」

2. 単元の目標

- ・大豆について課題をもち、大豆の栄養や生長、調理法などを進んで調べることができる。また、調べて分かったことや感想などをポスターや新聞にまとめることができる。 (知識及び技能)
- ・大豆の食文化との関わりや栄養面、環境面の良さを認識し、考えたことについてポスターや新聞を通して他者に伝えたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・食生活に関心をもち、地域の特産物への意識を深め、日本の食文化との関わりについて考えようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

豆類は、古くから重要な作物として栽培され、伝統行事や地域の食文化と結びつき、身近な食物として親しまれてきた。特に大豆は、「畑の肉」と呼ばれているように、たんぱく質が多く含まれ、昔から重要なたんぱく源となってきた。そのため現代でも大切な栄養食品であり、成長期の子どもたちにとって、とりわけ重要な食べ物である。

そこで今回、大豆のよさをもう一度見つめなおすことをテーマとし、3年生で、大豆について学習に取り組むことにした。3年生の国語科教材の中に「すがたをかえる大豆」という教材がある。この教材では、大豆やその加工食品について学習するため、自分の食生活や日本の食文化を見つめなおすことになるため、食育にもつながる。

また、子どもたちが大豆を身近に感じるために、地域の方に協力をお願いし、大豆栽培をする。さらに、収穫した後、大豆で豆腐を作ることで、食材を加工調理することの大変さや面白さに気づき、豆腐作りの後にできるおからについても知ることで廃棄をできるだけなくすことのよさについても考えることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、新しいことに対して意欲的に取り組むことができる。しかし、ひとつの物事を深く追求することについては、今までそのような学習経験があまりなく、児童は不慣れである。そのため、教師から課題を設定し、調べ方を学習していく必要がある。

毎日の給食時間では、友だちと楽しく給食を食べることができる。しかし、中には給食に苦手意識を持っている児童もいる。子どもたちにどうして給食を残してはいけないか尋ねると、「もったいないから。」「一生懸命作ってもらっているから。」と答える。しかし、どのように作られ

食材はどこから来ているかは実感が湧いていないようであった。そこで、関心をもつために、学校給食で多く使われている大豆の栽培を始め、既にたくさんの実がついているため、子どもたちは収穫を楽しみにしている。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、大豆を用いた食品は何があるかをあげさせ、大豆は給食などを通じて日常的に食していることを実感させる。また、日本の食文化での大豆の立ち位置や「畑の肉」と言われるほどの栄養面の豊かさにも着目させる。

次に、「大豆博士になろう」をテーマに、実際に大豆を栽培し、収穫、豆腐作りまでの体験学習を行う。その際に、JAの方の話を聞き、大豆畑を見学させてもらうことで、農家の方の大豆栽培への思いや工夫にも気づかせたい。

最後に、「大豆博士レポート」として下学年へ分かりやすく伝えるという相手意識をもってタブレットにまとめることで、大豆のよさを発信できるようにしていきたい。

(4) ESD との関連

○本単元で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

・多様性

大豆は日本の食文化としての役割や、廃棄を減らすなど環境改善の役割があることに気づくことができる。

・相互性

豆腐作りを通して、食文化との関わりを認識し、今後も様々な食生活を通じて食文化や環境への配慮と関わろうとする思いを高めることができる。

○本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

・つながりを尊重する態度

大豆を育てることを通して、農家の方、JAの方の思いを理解するとともにたくさんの人を通じて大豆の食文化が形成されていることが分かる。

・進んで参加する態度

大豆と食文化との関わりや環境改善についてなど進んで調べ、まとめ、発表することができる。

○本学習で変容を促す ESD の価値観

・人権、文化を尊重する。

日本で受け継がれてきた大豆の食文化を学ぶ中で、先人の思いを知り、自分たちにもできることはないかを考えることができる。

・達成が期待される SDG s

2 飢餓をゼロに

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①大豆の植え方・育て方が分かっている。</p> <p>②大豆を用いた環境面に配慮した食品や日用品があり、環境改善に貢献していることを理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を言葉や図、絵などを用いてそれらに関連付けながらまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>①資料をもとに、大豆の有用性を自分なりの言葉で表現し、まとめている。</p>	<p>①身の回りにも大豆が生かされた食品や物があるかに関心を持ち、探そうとしている。</p> <p>②学んだことを聞き手に納得してもらえるよう、まとめや発表に取り組んでいる。</p>

5. 単元の指導計画

次	主な学習活動	学習への支援	評価備考
1	<p>○大豆について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆の植え方や育て方について知る。 ・大豆と自分たちの食生活とのかかわりについて考える。 	<p>○副読本を用いて学習する。</p> <p>○様々な豆の種類の標本を用意し、大豆の形を認識するとともに他の豆と比較できるようにする。</p>	ア① (知・技)
2	<p>○大豆を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆を植える。 ・植え方や育て方について学ぶ。 <p>○生長を記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月に一度、生長の様子を撮影し、記録する。 ・大豆の生長の速さや葉の様子などを知る。 <p>○豆腐作りを行い、試食する。</p>	<p>○JAの方の話を聞き、実感を伴ってより詳しく知ることができるようにする。</p> <p>○毎回、記録に残すことで以前との比較や生長の様子をより分かるようにする。</p>	ウ② (態度) ウ①

	<ul style="list-style-type: none"> ・育てた豆を調理、加工して試食する経験を通して、原料から食品になるまでの手間や苦労について知る。 		(態度)
3	<ul style="list-style-type: none"> ○大豆の加工食品について調べる。 ・日常的に食べているものの中に大豆の加工食品はたくさんあることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国語科「すがたを変える大豆」と並行して行うことで、用途や加工の仕方によって様々な食品に変わっていくことが分かるようにする。 	ア② (知・技) イ① (思・判・表)
4	<ul style="list-style-type: none"> ○「大豆を使用して環境改善していること」と「大豆の栄養」に焦点を当て調べ活動をする。 ・環境面、栄養面において現在世の中にどのような課題があるのかを調べる。 ・大豆を用いてどのようにそれらの課題を解決することができるのかを調べる。 ・調べたことをロイロノートを用いてスライド形式にしてまとめる。 ○発表会を行う。 ・調べてきたことを異学年に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習は初めてに近い経験であり、自分でまとめる、文章を作ることが苦手な児童がいるため、2人1組で調べ・まとめ・発表まで行う。 	イ① (思・判・表) ウ② (態度)